

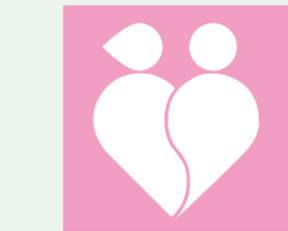
12月4日～10日は人権週間です

人権デーと人権週間

人権デーは、世界人権宣言(1948年)の採択を記念して、1950年の国連総会で採択日の12月10日を「人権デー」と定められました。

一方、国内では、世界人権宣言採択の翌年(1949年)に、採択日の12月10日を最終日とした1週間を「人権週間」と定め、様々な人権啓発活動を行っています。

播磨町では、人権週間に「こころふれあう町民のつどい」講演会を開催し、播磨町しあわせセンターで特設人権相談を行っています。



「共に生きようふれあいのまち」宣言
シンボルマーク

播磨町には、町長から推薦されて法務大臣が委嘱した人権擁護委員が5人います

- 加田平靖子 西野添3丁目 ☎078(942)7210
- 小林誠 北本荘5丁目 ☎079(437)1464
- 多々良章子 西野添2丁目 ☎078(943)1465
- 吉川健次 古宮 ☎078(942)9005
- 細田知秀 北本荘3丁目 ☎079(437)1364

人権擁護委員の活動

1. 相談活動をしています

① 常設相談

- ▼相談日 毎週月～金曜日
- ▼相談時間 午前8時30分～午後5時15分
- ▼場所 神戸地方法務局加古川支局(加古川市野口町良野1749)

▼相談電話番号

☎0570(003)110(ゼロゼロみんなの110番)

② 困りごと相談

- ▼相談日 毎月第2・第4木曜日
- ▼相談時間 午後1時～3時
- ▼場所 播磨町しあわせセンター(南大中1丁目)
- ▼相談電話番号 ☎079(435)1712



③ 電話相談

播磨町人権擁護委員自宅にて随時

2. 啓発活動をしています

- ・播磨町の小学校4校で、人権教室を1年に1校ずつ開催し、人権についてのお話をします
- ・8月の「共に生きよう ふれあいのまちはりま」映画会、12月の「こころふれあう町民のつどい」講演会で啓発物を配布すると共に、「人権あゆみちゃん」に出演を実施しています



・播磨町の幼稚園、保育園で、ペープサート、紙芝居を実施しています

3. SOSミニレター事業

法務省の事業として、毎年小中学生を対象に「SOSミニレター」を配布し、播磨町の小中学生からきた悩みの相談のミニレターに対して返信します。

●人権擁護委員についてのお問い合わせ

福祉グループ ☎079(435)2662

特設人権相談

いじめ、いやがらせなどでお悩みの方はお気軽にご相談ください。相談は無料。秘密は厳守します。

- ▼日時 12月5日(木) 午後1時～3時(予約不要)
- ▼場所 福祉しあわせセンター
- ▼問合せ 福祉グループ ☎079(435)2662



平成26年度版「ふれあい」が完成しました。

このカレンダーには、皆さまから応募いただいた人権標語やふれあい川柳を掲載し、人権意識の向上を図り、お互いの人権を守り住民みんなで住みよい町にしようと呼びかけました。また、日常で役立てられるように、「ゴミの収集日や防犯情報を掲載した便利なカレンダー」に仕上がりました。目につくところにかけていただき、メモとして利用すると共に掲載したふれあい写真をみてほっこりしたあたたかさを感じていただければ幸いです。



▲平成26年ふれあいカレンダー

人権啓発カレンダー「ふれあい」

原画展を開催します

- ▼日時 12月4日(水)～10日(火) 午前8時30分～午後9時
- ▼場所 中央公民館ロビー



▲公民館での原画展

平成25年度版人権教育のすすめ

7人の人権啓発資料編集委員が、様々な人権課題をテーマにアイデアを出しあい、池本良子さんの心あたたまるイラストを随所に織り込み制作した「人権教育のすすめ」をもうお読みになりましたか。

第42集は「あなたとであい、あなたとふれあい、あなたとつながる」がテーマとなっています。家庭や学校で読んでいただいて、「地域のつながり」「家族の絆」「あいさつの大切さ」などについて考えるきっかけになれば…と思います。



▲第42集のページ

播磨町小・中学生人権作文・人権詩および 播磨町幼稚園人権カットの紹介

第33回「全国中学生人権作文コンテスト」
兵庫県大会加古川・高砂・稲美・播磨地区予選 最優秀賞作品

「高齢者がいきいきと過ごす社会に」

播磨中学校1年 小林あかり

私は、三年生のときから祖母と同居しています。きっかけは、私が一緒に住みたくて何度も一緒に住もうとお願いをしたからです。

その時はどんな風になるのか想像が付きませんでした。今は同居してとても良かったと思っています。

一つ目の理由は、時折母が仕事の時に家で待っていてくれて、食事の用意などをしてくれるからです。いつも笑顔で、「お帰り」と言ってくれて、美味しいご飯を作ってくれてとても感謝しています。

二つ目の理由は、同居する

まで大阪に住んでいたのが、なかなか会えなかったのが、いつでも会えるようになったことです。

お正月や、節分、誕生日パーティー、クリスマスなど一年の行事を一緒にしたり、一緒にご飯を食べに行ったり、祖父と釣りに行ったりもできます。

三つ目の理由は、祖父自身も楽しそうなんです。同居してから祖父の誕生日に飼いだした犬は、祖父が毎日散歩したり、ブラッシングしたりしてとても可愛がっています。

祖父はそれまで趣味もなく、一日中テレビの前で寝ころんでいた。運動不足が心配でした。でも今は、朝夕一時間ずつ散歩するようになりました。散歩しているときに、たくさん顔見知りが出ていろいろな人と話すようになりました。それまで誰も知り合いませんでしたが、今はたくさん散歩友達がいま

祖母は、母がしているボランティア（赤ちゃんを遊ばせてお母さん達の悩みなどを聞く）と一緒にいたりしています。赤ちゃんを楽しそうに遊んでいるし、祖母も他のス

タッフと仲良くなっています。

また、祖父は海が近くなつたので夏には釣りにも行っています。釣ってきた魚を一夜干ししたり、祖母と一緒にさばいたりしています。こんな風に二人で作業をしたりすることは同居するまであまりありませんでした。犬の散歩を一緒にして、食事中も犬の話がよく話かはずんでいます。二人の仲も良くなつても良かったと思います。

でも、最近が高齢者がかつてない速度で大量に増えている。様々な問題が起きています。特に私が気になるのが独居老人です。

独居老人と聞くと私は今まで良くないイメージを持っていましたが、調べると中には一人を望んで楽しく暮らす人もいることを知りました。なので、私は独居老人をなくすことも大切だと思いますが、その人たちが毎日いきいきと暮らせるような環境を作る

ことが大切だと思います。

私の親戚のおばあちゃんも一人で暮らしています。あまり元気がないので心配です。私にできることは親戚のおばあちゃんがいきいきと暮らせる環境をつくることなので、よく遊びに行ったり、電話をしたりして、さみしい思いをさせないようにしたいです。

親戚のおばあちゃんには、私が生まれた時からとてもお世話になっていたので、今度は私が恩を返せたらなあと思っています。

このように、独居老人が毎日いきいきと過ごすには周りの力が必要になってくると思います。

では、周りにできることはどんなことがあるのでしょうか。私はあいさつをしたり、声掛けをしたり、周りの人々が少しでも気にかけていることが高齢者に伝われば孤独感が薄らぎ、ひいては孤独死も減るのではないかと思います。

また、同居している祖父が今後もっと年老いて介護や手助けが必要になった時には進んで自分のできることをやっていきたいと思っています。でもその前に祖父は、私がいきいきと毎日過ごしていることを何よりも喜んでくれているので、まずは私が充実した生活を送り、その日にあったことを祖父に話すことが今の私にできることだと思っています。

一人一人に出来ることは本当にささいなことですが、みんなが意識的に行動することで世の中の高齢者が毎日楽しく過ごせる社会になればいいなと思います。

▼問合せ 生涯学習グループ ☎079(435)0505

『心』 播磨南中学校1年 大根田 琴梨

いつも笑っているからって、心は悩んでいないわけじゃない。
弱音を吐かないからって、心は辛いわけじゃない。
友達が多いからって、独りじゃないわけでもない。
強く見えるからって、本当に強いとは、限らない。
なかなか人前で、本当の心を見せられないだけで、不器用なだけかもしれない。
自分の弱い部分を見せられる人が、一人でもいたら、それでいい。
よく笑う人はよく泣いた人。
よく大丈夫という人はよく無理をする人。
言わないからって、悩んでないわけじゃないし、大丈夫なわけじゃないし、怒ってないわけじゃない。
どんな自分でも受け止めてくれる人がいれば。

「おともだちがいっぱい」



播磨西幼稚園3歳児 柴田 希(しばたのぞみ)

『言葉の力』

蓮池小学校5年 岡野 李音

- 「こんにちは」って言う人がある。
- 「たたいま」って言う家族がある。
- 「おかえり」って言うもらえる家族がある。
- 「いただきます」って言うって食べられるものがある。
- 「おやすみ」ってくつすりねれる場所がある。
- 「バイバイ」って言うってくれる友達がある。
- 「ごめんね」ってあやまれる友達がある。
- 「ありがとう」って言う人がある。
- 「おめでとう」って伝えたい人がある。
- 「好きだよ」っていい人がある。
- 「がんばらうね」っていいあえるひとがある。

こんな小さな言葉でも、
まわりを笑顔にできる。
みんなそんな力を持っている。